

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年2月10日

上場会社名 東洋合成工業株式会社
 コード番号 4970
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

東

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

(氏名) 木村 有仁

(氏名) 篠崎 史朗

(TEL) 03-5822-6170

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,747	7.8	3,812	14.7	4,026	20.5	2,745	19.9
2022年3月期第3四半期	23,873	—	3,323	55.3	3,342	60.2	2,289	62.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第3四半期	345.87		—					
2022年3月期第3四半期	288.40		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	48,431	18,570	38.3
2022年3月期	46,886	16,061	34.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 18,570百万円 2022年3月期 16,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	5.6	5,150	11.4	5,000	4.3	3,500	1.2	440.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の世界情勢等により異なる可能性があり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	8,143,390株	2022年3月期	8,143,390株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	206,467株	2022年3月期	206,467株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	7,936,923株	2022年3月期3Q	7,937,015株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、コロナ禍からの経済活動正常化が進んだものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレの進行、米国をはじめ各国の政策金利引き上げ、加えて中国政府のゼロコロナ政策による成長鈍化など、景気後退の懸念が高まりました。12月以降、中国のゼロコロナ政策撤廃、米国ではインフレが鈍化しつつあるものの、今後の動向には注視が必要であります。

わが国経済は、行動制限解除による経済活動正常化が進んだものの、歴史的な円安による輸入物資価格の高騰やインフレ加速など、経済環境は厳しさを増しています。

電子材料業界は、コロナ禍の影響が減退し、世界的なロジスティクス混乱は正常化へ向かい半導体不足の一部は解消されたものの、巣ごもり需要の反動により在庫調整局面が続きました。先端領域では需要が堅調に推移しましたが、インフレ進行により汎用品の需要は減速しています。

このような状況のもと当社は、一般品の販売が減少したものの、先端向け電子材料の旺盛な需要に支えられ、更にお客様や原材料調達先の協力のもと原燃料・運賃高騰分の販売価格への反映にも努め、当第3四半期における売上高は25,747,123千円(前年同期比+1,873,630千円、+7.8%)となりました。利益面につきましては、原燃料・運賃の高騰、先端領域向け技術開発や生産能力の増強継続に伴う費用が増加したものの、高付加価値な先端領域向け製品の販売増加があり、営業利益は3,812,831千円(前年同期比+489,363千円、+14.7%)、経常利益は円安進行による債権の為替差益もあり4,026,902千円(前年同期比+684,437千円、+20.5%)、四半期純利益は2,745,137千円(前年同期比+456,098千円、+19.9%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(感光性材料事業)

先端領域向け材料は、ロジック半導体向けの強い需要が続きました。ディスプレイ向け感光材は、フラットパネルディスプレイの在庫調整が終了し、緩やかな回復基調が続いています。

この結果、同事業の売上高は15,411,924千円(前年同期比+597,930千円、+4.0%)と伸長したものの、先端領域向けの技術開発や生産能力の増強継続に伴う費用の増加があり、営業利益は2,486,132千円(前年同期比+55,923千円、+2.3%)となりました。

(化成品事業)

電子材料関連製品は、コロナ特需の反動によるスマートフォンやPCの販売減少に加え、中国のゼロコロナ政策や、世界的な金融の引き締めによる景気の減速から需要は軟調となりましたが、先端領域の強い需要と拡販、原燃料高騰分の価格反映が進み、売上は増加しました。

香料材料関連製品は、インフレ進行による景気減速の影響により、当社製品の主な用途であるトイレタリー向け香料の販売は不調となりましたが、円安及び原燃料高騰分を販売価格へ反映したこと等により、前年同期並みの売上高となりました。

ロジスティック関連は、自動車の減産やサプライチェーン上の在庫調整などから、荷動きは減少しているものの、旺盛なタンク需要によりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は10,335,198千円(前年同期比+1,275,700千円、+14.1%)、営業利益は1,326,698千円(前年同期比+433,440千円、+48.5%)と増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間における総資産は48,431,695千円となり、前事業年度末比1,545,641千円の増加となりました。

流動資産は22,025,056千円で、前事業年度末比2,258,698千円の増加となりました。これは商品及び製品2,560,075千円の増加、原材料及び貯蔵品854,112千円の増加などによるものであります。

固定資産は26,406,639千円で、前事業年度末比713,056千円の減少となりました。これは主に取得による増加1,618,451千円、減価償却による減少2,083,498千円などによるものであります。

流動負債は17,094,303千円で、前事業年度末比2,212,115千円の減少となりました。これは設備関係未払金1,094,253千円の減少、未払法人税等822,272千円の減少などによるものであります。

固定負債は12,767,064千円で、前事業年度末比1,249,098千円の増加となりました。これは主に、長期借入金1,099,605千円の増加によるものであります。

純資産合計は18,570,327千円で、前事業年度末比2,508,658千円の増加となりました。これは主に四半期純利益2,745,137千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年11月9日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,681,136	3,601,569
受取手形及び売掛金	7,402,268	6,404,435
商品及び製品	5,747,767	8,307,842
仕掛品	234,220	99,955
原材料及び貯蔵品	2,098,214	2,952,327
その他	610,367	665,486
貸倒引当金	△7,617	△6,560
流動資産合計	19,766,358	22,025,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,785,043	10,712,498
機械装置及び運搬具(純額)	7,529,678	8,091,250
土地	4,912,147	4,912,147
建設仮勘定	1,499,063	428,166
その他(純額)	650,296	686,520
有形固定資産合計	25,376,229	24,830,583
無形固定資産		
その他	511,732	550,618
無形固定資産合計	511,732	550,618
投資その他の資産		
その他	1,231,733	1,025,437
投資その他の資産合計	1,231,733	1,025,437
固定資産合計	27,119,695	26,406,639
資産合計	46,886,053	48,431,695
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,010,809	5,382,106
短期借入金	5,300,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	3,445,860	3,858,360
設備関係未払金	2,268,873	1,174,619
未払法人税等	1,117,858	295,586
賞与引当金	724,484	396,060
その他の引当金	52,860	38,070
その他	1,385,672	1,249,500
流動負債合計	19,306,418	17,094,303
固定負債		
長期借入金	9,073,951	10,173,556
退職給付引当金	1,781,428	1,906,328
役員退職慰労引当金	83,317	90,038
その他	579,269	597,141
固定負債合計	11,517,966	12,767,064
負債合計	30,824,385	29,861,368

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	12,938,876	15,406,222
自己株式	△92,145	△92,145
株主資本合計	16,007,209	18,474,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,458	95,772
評価・換算差額等合計	54,458	95,772
純資産合計	16,061,668	18,570,327
負債純資産合計	46,886,053	48,431,695

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	23,873,492	25,747,123
売上原価	17,826,736	18,827,377
売上総利益	6,046,755	6,919,745
販売費及び一般管理費	2,723,288	3,106,914
営業利益	3,323,467	3,812,831
営業外収益		
受取利息	25	43
受取配当金	7,242	8,919
為替差益	69,362	262,420
受取家賃	19,032	17,713
生命保険配当金	10,210	11,080
その他	21,941	34,254
営業外収益合計	127,815	334,431
営業外費用		
支払利息	92,343	80,082
その他	16,474	40,277
営業外費用合計	108,817	120,359
経常利益	3,342,464	4,026,902
特別利益		
固定資産売却益	61	338
特別利益合計	61	338
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	32,795	58,763
特別損失合計	32,802	58,763
税引前四半期純利益	3,309,724	3,968,477
法人税、住民税及び事業税	878,225	975,862
法人税等調整額	142,459	247,477
法人税等合計	1,020,684	1,223,340
四半期純利益	2,289,039	2,745,137

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,813,994	9,059,498	23,873,492	—	23,873,492
外部顧客への売上高	14,813,994	9,059,498	23,873,492	—	23,873,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	220,165	220,165	△220,165	—
計	14,813,994	9,279,663	24,093,657	△220,165	23,873,492
セグメント利益	2,430,209	893,258	3,323,467	—	3,323,467

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	15,411,924	10,335,198	25,747,123	—	25,747,123
外部顧客への売上高	15,411,924	10,335,198	25,747,123	—	25,747,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	230,200	230,200	△230,200	—
計	15,411,924	10,565,399	25,977,324	△230,200	25,747,123
セグメント利益	2,486,132	1,326,698	3,812,831	—	3,812,831

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。